



令和8年1月22日発行 NO10
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

楽しく、子育て交流タイム！



< 通信【飛騨っ子】 >

□ サロン型家庭教育学級のすばらしさ … 令和8年度への種蒔き1

今年度の特徴として、学校の授業参観後に行われている学級懇談会をサロン型家庭教育学級として取り組まれている学校が増えつつあることが挙げられます。

取り組まれている学校関係者の声を紹介しますと、「保護者同士が仲間をつくってほしいこと(孤立しないでほしい)」「変化の止まることのない時代の中を親も子も生きており、安心できる環境を大切にしたいこと」「複数の小学校(保育園)から中学校(小学校)へ入学してくる校区の事情(つながりギャップ)に対応したいこと」「保護者同士が相談し解決できる力を育みたいこと」「交流している姿に触れ、PTA活動も見直ししながら工夫できるところがあること」… などなどがありました。

◇ <小さな挑戦 → 大きな効果> … 高山市立山王小学校の実践から

○ これまでの学級懇談会 (約 30 分)

- ・ 学校からの連絡・説明
- ・ 順番に子どもの様子等について話す など

<効果>

- ・ 対話的・主体的・賑やか・自由・笑顔・尊重の広がり
- ・ 同学年の子をもつ保護者のつながり力の育成 など

○ 令和6・7年度の学級懇談会 (約 30 分)

- ・ 子育てについての悩みなどについて交流 (特にテーマなし)
- ・ 学校からの連絡・説明(必要な事のみ) (30 分外)



<9月 高山市立山王小学校>



<6月 下呂市立上原小学校>



<7月 下呂市立小坂小学校>



<10月 下呂市立北中学校>



<12月 高山市立北小学校> P3 参照


各学校のサロン型の形態は様々です。

- ・ 時間は30分程度 (延びることあり)
- ・ テーマはあったりなかったり
- ・ 司会者、記録者は特になし
- ・ グループ分けは、その時々
- ・ 事前アンケート調査は、あったりなかったり
- ・ 担任の先生は、参加したりしなかったり
- ・ まとめることや発表はなし
- * 事後アンケートはあるとよいかも (気づきや学びが共有できる)

* 写真：通信【飛騨っ子】にて紹介した学校の様子です。

□ 飛騨市旭保育園 親子で山中和紙ランタンづくり

○期日 令和7年11月14日(火) ○会場 旭保育園こどものひろば ○主催 幼児学級委員会



あさひ No.8 令和7年 10月20日 旭保育園 保護者会

幼児学級開催のお知らせ

あさひ No.8 でも少しご紹介してありますが、下記日程にて幼児学級を開催することとなりました。旭保育園最後となります今回の幼児学級は、保護者の方にも参加していただく行事を企画しました。お忙しいとは思いますが、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

記

幼児学級「親子で山中和紙ランタンづくり」

日時： 2025年11月14日 13:00~15:00

場所： 旭保育園 こどものひろば

持ち物： 保護者の用意スリッパ、もも組さんで衣類が、き、あお組にない方は：サインペン（黒色推奨）

講師： 飛騨市旭保育園こいのぼり隊、小幡 浩二 さん

内容： 旭保育園で生産されている山中和紙（さんちゅう）と和紙をランタンを保護者の方と作成し、三角錐に折った和紙に、子どもたちが絵を描いたりスタンプを押したり、飾りつけをします。最後にライトを装着し、ランタンに仕上げます。

スケジュール：

- 13:00 幼児学級 遊びの会
- 13:05 ワークショップ 山中和紙の紹介、ランタンづくり、集合写真撮影
- 14:30 おやつ
- 14:45 終わりの会
- 15:00 終了

備考：

- ・ランタンにはサインペンで絵を描きます。もも組さんで、き、あお組にない方は、自己より持参いただくかお持ちください。もし、お持ちでない場合は保護者の方にお任せください。（き、あお組さんは、園で持っているものを使用します。）
- ・幼児学級の様子、フリップボードなどに写真撮影をお願いしています。
- ・駐車場は、保護者の方から入る、介護施設の方から、旭がバス停までお迎えをいたします。旭がバス停までお迎えをいたします。旭がバス停までお迎えをいたします。
- ・基本的に子どもたちは、幼児学級終了後保護者の方と送迎することをお願いしていますが、難しい方は園へご相談ください。
- ・保護者の方は旭保育園の園舎上、1階まで1人とさせていただきます。ご了承ください。旭がバス停までお迎えをいたします。旭がバス停までお迎えをいたします。旭がバス停までお迎えをいたします。

以上

来年度、旭保育園は近隣の双葉保育園と統合します。旭保育園最後となる今回の幼児学級は、多くの保護者の方に参加していただける行事を企画しました。

講師：地域おこし協力隊（飛騨市）
内容：河合町で生産されている山中（さんちゅう）和紙を活用します。三角錐に折った和紙に、子どもたちが絵を描いたりスタンプを押したり飾りつけをしたりします。最後にライトを装着し、ランタンに仕上げます。 右写真→

ご参加は、ご両親に限らずご祖父母等どなたでも構いません。どなたのご参加も難しい方がみえたら、役員もしくは園までご連絡ください。



<山中和紙って、知ってるかな？>



<こうやって、三角の部分に合わせて>



<ほら、LED ライトをつけるよ～>

第3期飛騨市子ども・子育て支援事業計画（R7～R12）には、「子育て当事者を支援する」という方針が掲げられており、出生から義務教育終了まで年代ごとに家庭教育の機会を提供することが示してあります。市内保育園の幼児学級は、この施策のもとで運営されています。

地域の中で地域のモノが消費されていくサイクル … 山中和紙の素材の質…こんなに良質なものがとれる地域はそんなにありません！ 素晴らしい自然環境がある … それを伝えたい！ 山中和紙の良さを広げることが飛騨の良さを広げることにつながります！ 質で勝負できる環境があります！ … そんな文化を今日のように体験することで伝承していきたい … 飛騨のもったいない文化 … 飛騨ってすごいな！と落ち着かせたい。（講師）

大丈夫です。作れます！最後は、みんなであかりを灯して、終わりたいと思います！



通信（あさひ）発行のNO12号とは、すごい！

幼児学級委員の案内により、大変多くの保護者の方々が参加し、子どもたちと一緒に、ランタンづくりを楽しみました。地域の大切な資源となる（ひと：講師・もの：山中和紙・こと：幼児学級）を有効に活用した取組は、最後に子どもたちが手に吊るしたランタンのあたたかな明かりとなって輝きました。

地域の中で地域のモノが消費されていくサイクルの存在…講師の方が熱く語られた「飛騨ってすごい！」は、このような仕組み（取組）のことだと感じました。

今回、そのすばらしさは旭保育園の家庭教育学級で伝えられました。

一家庭の親子の取組が、こうして「学級」とした活動となることで、親同士の、子ども同士の、家族同士のふれ合う機会となり、喜びも楽しさも気づきも学びも、どんどん広く深く強くなっています。

家庭教育学級の取組は、素晴らしい。

保護者の子育て・家庭教育について学ぶ機会（「子育ての当事者を支援する」）は、とても意義深いです。

○期日 令和7年12月1日(月) 授業参観後 ○会場 1・2年生の各教室 ○主催 家庭教育学級担当

・ **6月**：子どもの成長を感じること・ **10月**：子育ての悩み・ **12月**：わが家のおもしろい約束

[illegible]

『その家族ルール、うちだけ!?
～家庭内の様々なルール～』アンケート

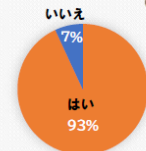
- 1 家族ルールについてお尋ねします
 - ① 家庭内に家族ルールはありますか
 - ② どのようなルールですか
 - ③ ルールをつくって良かったこと・良くなかったことは？
- 2 家庭内ルール作りについて、他の保護者の方に相談・広めたいこと等

どの学級もアンケートの回答率が高い。嬉しい！

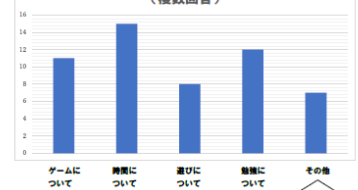
学級ごとに、それぞれ特徴がある。
おもしろい！



家庭内に家族ルールはありますか？
(n=29)



どのような家族ルールですか？
(複数回答)



- 1 ① はい ② 時間についてのルール ③ おふろの後は、テレビを消して過ごすようにしていて、家族でそろそろわかるた、ワーク等をして過ごす時間ができて良かったです。また、家族皆そろって食事をするようにしているので、今日のできごとを話し交流でき良かったです。
- 2 勉強が終わって明日の準備ができたなら自由時間にしているのですが、テレビ等の視聴時間は決めていますか？



お子さんたち、
宿題はいつやっ
てるんですか？

担当の先生が「春のリーダー研修会に参加し、本校にとって家庭教育（学級）を充実させることはとても重要だと思いました。」
「子どもたちの成長にとって、保護者のつながりや思いの共有はとても大切です。」と、話してくださいました。

1年間を通して、保護者が集まる機会を活用し、授業参観後の時間を「子育てサロン型の家庭教育学級」として取り組まれています。年3回のテーマは、子どもたちの成長に合わせて考えられており、1年生の保護者が子育て（家庭教育）の視点を持ちやすい内容となっています。



遊びに行くのは、一度帰宅してからですか？

アンケートの内容(＊)が具体的で、わかりやすいです。また、「2 家庭内ルール作りについて、他の保護者の方に相談・広めたいこと等」の記述欄は、家庭教育学級(サロン型)を進める上でとてもよい工夫です。自分の子育てに対する思いや相談事を投げかけらる安心感を生み出し、お互いの思いを共有しみんなで1年生の子どもたちを育もうとするつながりをつくり出しています。

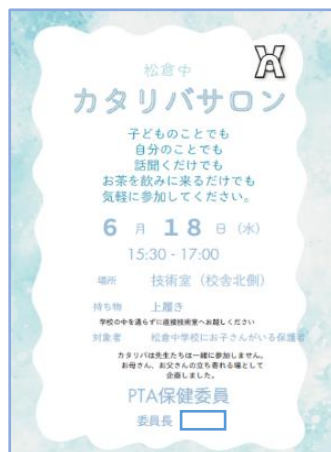
この日(3回目)は、インフルエンザ流行の真っ只中で、3学級あるうちの1学級は午後より学級閉鎖となっていました。それでも、2つ学級には少人数でしたが保護者の方々が集まり、担任の先生とアンケートをもとに交流し、大変盛り上がりました。参加者の中には、県外から高山市にみえた方もいて、貴重な時間となっています!

□ 高山市立松倉中学校

○期日 6月18日,8月19日 ○場所 松倉中学校内 ○主催 PTA 保健委員会



◇ (不定期) カタリバサロン サロン型



春,提出された「家庭教育年間計画」を拝見し,「(不定期)カタリバサロン」というタイトルが目にとまりました。

保護者の目線から,新しい仕組づくりに挑戦しようとしてみえることが,すばらしいと感じました。

1 経緯

家庭教育学級等リーダー研修会後,教頭先生と保健委員長さんの交流の中で「保護者同士で困りごとなどを気軽に話せる機会や場(保護者の居場所)があるといいね」ということが,話題となったそうです。そこで,まず「カタリバサロン」という場

をつくってみようということになり,取組が始まりました。

2 手順

開催のポイントとして①職員玄関などから入らなくとも,直接入れる教室等を会場とする ②学校の職員は関わらない(参加しない)としました。カタリバサロンの案内を学校便りに掲載するとともに,別の案内(左上:チラシ)を作成し学校メール(すぐーる)により配信し,参加者が増えるように広報しました。

3 取組の結果

結果として,思うように参加者が集まりませんでした。開催中,校長先生や教頭先生が新しい取組を覗きにきてくださいました。(予想外に話が盛り上がりました。)委員長さん曰く「開催する時間帯に無理があるのかも…」と,ぽつり。保護者の家庭教育について学ぶ機会は,12月に開催される親子講演会につなぐこととなりました。

◇ 親子講演会 (高山市家庭教育充実事業 学ぶPTAを活用) 講演会型

○期日 12月5日(金) ○場所 体育館 ○講師 環境活動家・事業家・作家 ○対象 全校生徒・保護者

○主催 PTA 保健委員会 ○テーマ 「気象変動を自分事として捉え行動を起こすことについて」



日本が直面している最大の脅威は,「他人の誰かが何とかする」という一億総「自分ではない」社会

環境問題等から世界各地で活動され,世界的な視点から物事を考え判断し行動されている講師の方が紹介する映像やメッセージは,とてもインパクトがありました。

生徒たちが,これからどんな視点・考え方を大切にして歩いていくことが大切なのかについて,自分事として聞いている姿がとても印象的でした。まさに,全校生徒による「生き方学習」です。



自己肯定感(=自尊感情)
感情:自分のことを大切にできる
理性:自分で物事を決められる

講演が終了し,質問タイム(約30分)となりましたが,全校生徒による質問は止まりませんでした。1年生も3年生も男子も女子も,次々と挙手し,講演の内容について自分の思いを自分の言葉で,

真正面から講師の方にぶつけていました。全校生徒が,自分たちの生き方をより良く高めようと真剣に探っているようでした。



後列に準備された座席で,全校生徒(わが子)と一緒に講義と質問する生徒の姿を視聴している保護者の方の存在が,印象的でした。「親子による生き方学習」です。

保護者が思春期を向えたわが子の良きアドバイザーとなるよう,保護者同士と一緒に学んだり交流したりする機会はとても大切です。